

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成10年度～	
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	01 農業(農業振興地域以外の整備)
事務事業名		09	山村地域等振興事業
根拠法令・例規等		備前市山村振興事業補助金交付要綱	
問		担当課(室)	吉永総合支所 窓口管理課
合		職・氏名	参事 山田 邦男
先		電話	0869-84-2513
このシート作成に要した時間		3.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	山村振興地域(神根、三国地域)
目的(何のために)	農山村地域活性化のため
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	農林産物の展示販売を通し、地域PR及び県内外からの来訪者との交流を深める

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するために実施した事業	<p>八塔寺ふるさと村は、茅葺民家、のどかな田園風景などの地域資源を活かしながら、広域的な交流や地域の活性化を推進してきましたが、少子高齢化や過疎化の進行など、地域を取り巻く情勢が大きく変化しており、今後とも、地域間の連携を強化して、各種施策を展開する必要があります。</p> <p>そこで、八塔寺地域内の地域づくりや広域的な交流連携を通して、活力ある地域づくりを推進するために必要な交流まつりを存続し、そして、自立したまつりへと発展させるため実行委員会が実施する、地域の活性化及び振興を図るためのイベント事業(八塔寺ふるさと交流まつり)に対し、補助金を交付する。</p>	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	3,000	3,000	3,000	3,000
対前年度集客数		実績値(B)	1,900	2,500	2,500	到達目標値
		達成率(B/A)	63.33%	83.33%	83.33%	毎年

前年度との集客数の比較

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度		C

事業の目的やその数値目標から有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	ふるさと交流まつり実行委員会による企画運営を実施しているが、事務効率は向上していない。					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		700	650	650
	必要人員(人件費)	千円	0.12人	0.09人	0.10人
	事業費		1,582	1,363	1,522
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他()					
一般財源		1,582	1,363	1,522	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	交流まつり来訪者	説明			
	結果指標量	事業	1,900	2,500	2,500
	対前年比	%	-	131.6%	100.0%
	活動コスト	円	1,582,000	1,363,000	1,522,000
単位当たりコスト		833	545	609	

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A~E>	妥当性
地域活性化のために必要な行事であり、引続き交流まつりを開催するが、予算削減により現状維持が難しい。			B	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	各地域において、イベントがあり統合廃止も考えられるが、地域活性化のためにも継続が望ましい。					